

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2022年4月27日

神奈川県知事 殿

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
開設者 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会
支部長 赤星 透

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 060004

臨床研修病院の名称：

済生会横浜市東部病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 27 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	060004	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 済生会横浜市東部病院臨床 研修病院群 番号 0600043
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ゴトウ シュン 氏名(姓) (名) 後藤 淳	役職 初期臨床研修医室 室長 (内線 9809) (直通電話 () —) e-mail : j_gotoh@tobu.saiseikai.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シャカイフクシホウジノオンジザイタンサセカイイブカガクワンサセカイヨコハマシトウブヒョウイン 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 230 - 8765 (神奈川県) 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 電話：(045) 576 — 3000 FAX：(045) 576 — 3586 二次医療圏 の名称： 横浜		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シャカイフクシホウジノオンジザイタンサセカイイブカガクワンサセカイ ショウ アカシトル 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 支部長 赤星 透		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 221 - 0822 (神奈川県) 横浜市神奈川区西神奈川 1-13-10 電話：(045) 423—2301 FAX：(045) 423—2300		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ミシミ 姓 三角	タビコ 名 隆彦	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http:// www.tobu.saiseikai.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 060004

臨床研修病院の名称：

済生会横浜市東部病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：256 名、非常勤（常勤換算）： 8 名 計（常勤換算）： 364 名、医療法による医師の標準員数： 56 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2019 年 10 月 18 日、告示番号：第 234 号
	医療計画上の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 初期救急医療機関 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 第二次救急医療機関 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有（ 535.780 ）m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 17,934 件（うち診療時間外： 13,444 件） 1日平均件数： 49.1 件（うち診療時間外： 36.8 件） 救急車取扱件数： 6,527 件（うち診療時間外： 4,584 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 7 名、看護師及び准看護師： 16 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無） 外科系（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無） 小児科（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無） その他（ 全科 ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 468 床、2. 精神： 50 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 8.1 日、2. 精神： 41.1 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 750 件、異常分娩件数： 372 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 5 回、今年度見込： 5 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 10 件、今年度見込： 10 件
剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>	
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有（単身用： 24 戸、世帯用： 0 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有（ 1 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 92.64 ）m ²
	医学図書数	国内図書： 3,511 冊、国外図書： 242 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 1,485 種類、国外雑誌： 3,149 種類
	図書室の利用可能時間	00：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無）、 その他（ _____ ） 利用可能時間（00：00 ～ 24：00）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（ <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 060004 臨床研修病院の名称：濟生会横浜市東部病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ <u>ウチダ</u> <u>チカ</u> 氏名（姓） <u>内田</u> （名） <u>力</u>													
		役職 <u>事務部副部長</u>													
	診療に関する諸記録の管理方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 中央管理 2. 各科管理 その他（具体的に： ）													
	診療録の保存期間 診療録の保存方法	（ <u> 永年 </u> ）年間保存 1. 文書 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 電子媒体 その他（具体的に： ）													
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有（ <u> 3 </u> 名） 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>													
	安全管理部門の設置状況	職員：専任（ <u> 3 </u> ）名、兼任（ <u> 6 </u> ）名 主な活動内容：例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 1) インシデント・アクシデントレポートの収集・集計・分析・対策 2) 医療安全に関する会議運営 3) 院内安全ラウンドの実施 4) 医療安全に関する院内研修・セミナーの企画・運営													
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ <u>ミヤギ</u> <u>モリアツ</u> 氏名（姓） <u>宮城</u> （名） <u>盛淳</u> 役職 <u>副院長</u> 対応時間（ <u> 00:00~24:00 </u> ）24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無													
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無 指針の主な内容：1) 安全に関する基本的な考え方 2) 安全管理のための会議体 3) 安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 4) 医療事故発生時の対応に関する基本指針													
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年（ <u> 12 </u> ）回 活動の主な内容：1) 総合的な医療安全管理対策の検討と立案・評価 2) 報告書の収集と分析 3) 医療安全のための啓発、教育、研修、広報について													
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年（ <u> 2 </u> ）回 研修の主な内容：医療安全に関する知識や技術、総合的なパフォーマンス力を修得、強化するために全職種対象とした研修を企画、運営する													
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：個人の責任を問うものではなく、システム構築を目的とする。院内から報告された事例ならびに医療の安全に関する各種情報に基づき、医療安全に関する再発防止策や改善策を立案及び実施。さらに職員への周知を図るとともに改善策が有効に機能しているかを調査し、必要に応じて見直しを図る													
	20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		修了： <u> 10 </u> 名 中断： <u> 0 </u> 名												
	21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">前々年度</th> <th style="width: 20%;">前年度</th> <th style="width: 20%;">当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td><u> 10 </u></td> <td><u> 10 </u></td> <td><u> 10 </u></td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td><u> 10 </u></td> <td><u> 10 </u></td> <td><u> 10 </u></td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>	2 年	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>
		前々年度	前年度	当該年度											
1 年	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>												
2 年	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>	<u> 10 </u>												
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出	許可病床数（ <u> 518 </u> ）床 ÷ 10 = （ <u> 51.8 </u> ）名													
	患者数から算出	年間入院患者数（ <u> 16,688 </u> ）人 ÷ 100 = （ <u> 166 </u> ）名													
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">○ 派遣実績</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">募集定員加算</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">名</td> </tr> </table> ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。（記入要領 25 を参照） ○地域医療対策協議会等の意向の把握（ <u> 有 </u> ・ <u> 無 </u> ） ※ 該当する方を○で囲むこと。	○ 派遣実績	→	募集定員加算	名		名							
○ 派遣実績	→	募集定員加算													
名		名													

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 060004

臨床研修病院の名称：

済生会横浜市東部病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。	※	
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 9 名 (常勤： 9 名、非常勤： 0 名) 2. 作業療法士： 8 名 (常勤： 8 名、非常勤： 0 名) 3. 臨床心理技術者： 8 名 (常勤： 7 名、非常勤： 1 名) 9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)
25. 第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>		1. 有 (評価実施機関名： 卒後臨床評価機構 (2021年6月29日)) 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名 男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	院内保育所 保育補助 体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) 研修医のライフイベントの相談窓口 各種ハラスメントの相談窓口	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (8時 00分 ~ 17時 00分) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に：) 休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無) () 1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (研修医室・人事室) 窓口の専任担当 1. 有 (3 名) 0. 無 窓口の名称を記入 (ハラスメント・バイオレンス委員会) 窓口の専任担当 1. 有 (3 名) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： プログラム番号：
29. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>		1年次： 名、2年次： 名

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から27までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること)。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(10)～(12)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

32 「研修医の処遇」欄について

- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的な休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 済生会横浜市東部病院 （神奈川県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
神奈川県	横浜	済生会横浜市東部病院 (病院施設番号:060004)		神奈川県	横浜		鶴見西井病院 (病院施設番号: 030251)		神奈川県	横浜		済生会神奈川県病院 (病院施設番号: 030250)		済生会横浜市東部病院 初期臨床研修プログラム	10
				東京都	区中央部		国立大学法人東京大学医科学 研究所附属病院 (病院施設番号: 032360)		神奈川県	横浜		佐々木病院 (病院施設番号: 096516)			
				島根県	浜田		済生会江津病院 (病院施設番号: 030607)		福井県	嶺南		国保名田庄診療所 (病院施設番号: 034483)			
							(病院施設番号:)		神奈川県	横浜北部		平和病院 (病院施設番号: 070025)			
							(病院施設番号:)		沖縄県	宮古保健医 療圏		沖縄県立宮古病院 (病院施設番号: 032260)			
							(病院施設番号:)		神奈川県	横浜		済生会東神奈川リハビリテー ション病院 (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		神奈川県	横浜		くにもとライフサポートクリ ニック (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		福島県	県北		済生会川俣病院 (病院施設番号: 030531)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ・ 沖縄県立宮古病院：研修医の定員が増え、新規に僻地地域医療研修先を検討していたところ副プログラム責任者の紹介で当該施設を追加
- ・ 国保名田庄診療所：研修医の定員が増え、新規に僻地地域医療研修先を検討していたところ系列の病院の紹介で当該施設を追加
- ・ 済生会川俣病院/済生会江津病院：研修医の定員が増え、新規に僻地地域医療研修先を検討していたところ系列の病院の紹介で当該施設を追加
- ・ 国立大学法人東京大学医科学研究所附属病院：当院に膠原病科がないため、選択診療科としての研修先として追加
- ・ くにもとライフサポートクリニック/東神奈川リハビリテーション病院：選択診療科の研修先として、追加

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 3 年度 開催回数 3 回）

病院施設番号： 060004 臨床研修病院の名称： 済生会横浜市東部病院

氏名		所属	役職	備考
姓	ミスミ	済生会横浜市東部病院	院長	研修管理委員長
名	タカヒコ 隆彦			
姓	ゴトウ	済生会横浜市東部病院	副院長	プログラム責任者 臨床研修指導医
名	ジュン 淳			
姓	ヤマザキ	済生会横浜市東部病院	副院長	副プログラム責任者 臨床研修指導医
名	モトヤス 元靖			
姓	ババ	済生会横浜市東部病院	消化器内科副部長	副プログラム責任者 臨床研修指導医
名	タケシ 毅			
姓	ニシイ	鶴見西井病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
名	ヘルベルト ヘルベルト			
姓	ヤマモト	東京大学医科学研究所附属病院	准教授	研修実施責任者、臨床研修指導医
名	モトヒサ 元久			
姓	ワタナベ	済生会横浜市東部病院	理事	神奈川県医師会（外部委員）
名	ユウコウ 雄幸			
姓	マツシマ	済生会横浜市東部病院	委員	横浜市神奈川区医師会（外部委員）
名	カズ 和			
姓	ヨシカワ	東海大学	教授	済生会横浜市東部病院臨床心理士 （外部委員）
名	レイコ 玲子			
姓	ナカザワ	済生会江津総合病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
名	ヨシオ 芳夫			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 3 年度 開催回数 3 回）

病院施設番号： 060004 臨床研修病院の名称： 済生会横浜市東部病院

氏名		所属	役職	備考
ササキ ケイゴ		佐々木病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 佐々木	名 啓吾			
ウスイ シュウキ		済生会神奈川県病院	糖尿病内分泌内科部長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 臼井	名 州樹			
ナカムラ シンイチ		名田庄診療所	所長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 中村	名 伸一			
マスダ ヨシノリ		平和病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 増田	名 益功			
		沖縄県立宮古病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 本永	名 英治			
サクマ		済生会川俣病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 佐久間	名			
ドイ マサカズ		済生会神奈川県病院	副院長	臨床研修指導医
姓 土居	名 正和			
マルヤマ ミチユキ		済生会横浜市東部病院	統括院長補佐	臨床研修指導医
姓 丸山	名 路之			
ヒガ マリコ		済生会横浜市東部病院	総合診療科専門部長	臨床研修指導医
姓 比嘉	名 眞理子			
シミズ マサユキ		済生会横浜市東部病院	救急科部長	臨床研修指導医
姓 清水	名 正幸			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 3 年度 開催回数 3 回）

病院施設番号： 060004 臨床研修病院の名称： 済生会横浜市東部病院

氏名		所属	役職	備考
エガワ トモヒサ		済生会横浜市東部病院	外科センター長	臨床研修指導医
姓 江川	名 智久			
フクダ ケンタロウ		済生会横浜市東部病院	整形外科センター長	臨床研修指導医
姓 福田	名 健太郎			
イワモト マリ		済生会横浜市東部病院	こどもセンター長	臨床研修指導医
姓 岩本	名 眞理			
ツジノ ナオヒサ		済生会横浜市東部病院	精神科センター長	臨床研修指導医
姓 辻野	名 尚久			
サトウ コウゾウ		済生会横浜市東部病院	放射線診断科センター長	臨床研修指導医
姓 佐藤	名 浩三			
アキバヤスオ		済生会横浜市東部病院	産婦人科センター長	臨床研修指導医
姓 秋葉	名 靖雄			
サトウ トモユキ		済生会横浜市東部病院	麻酔科センター長	臨床研修指導医
姓 佐藤	名 智行			
イシダマサル		済生会横浜市東部病院	泌尿器科部長	臨床研修指導医
姓 石田	名 勝			
ニシヤ シン		済生会横浜市東部病院	外科医長	臨床研修指導医
姓 西谷	名 慎			
オリト ツヨシ		済生会横浜市東部病院	事務部長代行	事務部門
姓 折登	名 剛			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 3 年度 開催回数 3 回）

病院施設番号： 060004 臨床研修病院の名称： 済生会横浜市東部病院

氏名		所属	役職	備考
ムラマツ タカオ		済生会横浜市東部病院	臨床検査部課長補佐	検査部門
姓 邨松	名 隆雄			
ワタナベ テルコ		済生会横浜市東部病院	看護部長	看護部門
姓 渡邊	名 輝子			
エグチ ユウゾウ		済生会横浜市東部病院	薬剤部係長	薬剤部門
姓 江口	名 裕三			
オカムラユウスケ		済生会横浜市東部病院	係長	事務部門
姓 岡村	名 有佑			
ミウラ ヤヨイ		済生会横浜市東部病院	主事	事務部門
姓 三浦	名 弥生			
イノウエタクミ		済生会横浜市東部病院	初期研修医	
姓 井上	名 拓海			
マトハラナオキ		済生会横浜市東部病院	初期研修医	
姓 眞戸原	名 尚輝			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

	臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院	
	病院施設番号：060004	

区 分	内 科	救急部門	外 科	小 児 科	産婦人科	精 神 科	その他の研修を行う診療科																合 計		
							総合内科	麻酔科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	小児肝臓消化器科	リハビリテーション科	放射線診断科	放射線治療科	集中治療科		病理科	検査科
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	6,384	1,560 (17,934)	1,786	1,315	1,859 (1,122)	181	7	0	325	164	161	1,302	51	3	775	25	191	430	0	0	0	0	0	0	16,516
年間新外来患者数	7,228	5,102	1,494	4,600	1,300	487	1,961	85	379	54	84	2,252	936	9	1,135	141	678	584	2	550	74	0	0	0	29,135
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	312.2 (249)	32.5 (365)	106.6 (249)	64.3 (365)	77.5 (249)	61.7 (249)	43.3 (249)	6.0 (249)	19.3 (249)	13.9 (249)	4.7 (249)	109.3 (249)	35.5 (249)	1.0 (249)	73.1 (249)	14.4 (242)	23.2 (249)	18.0 (249)	17.0 (249)	3.0 (249)	13.0 (249)	0.0 (249)	0.0 (249)	0.0 (248)	
平均在院日数	6.4	4.7	7.5	6.4	5.7	41.6	0.0	0.0	15.9	18.9	5.0	10.8	13.3	1.0	5.8	1.1	8.5	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	68 (32)	17 (8)	18 (4)	15 (6)	12 (4)	8 (3)	3 (1)	18 (2)	5 (2)	4 (2)	3 (2)	11 (4)	4 (1)	1 (0)	6 (2)	1 (0)	3 (1)	5 (3)	2 (1)	5 (2)	2 (1)	8 (3)	2 (1)	1 (1)	222 (86)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R3 (2021) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	内科	0	4	5	5	5	6	5	6	6	5	4	5	4
慶應大学病院	内科	0	1	1	0	0	0	1	1			1		1
横浜市立大学附属病院	内科		1			1	1				1		1	1
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	内科			1	1	1					1	1	1	
東邦大学医療センター大森病院	内科		1		1			1		2		1		1
	内科合計	0	7	7	7	7	7	7	7	8	7	8	7	7
済生会横浜市東部病院	外科	0	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2
慶應大学病院	外科						1							
横浜市立大学附属病院	外科							1						
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	外科								1	1				
合計	外科合計	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R3 (2021) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	救急科	10	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3
慶應大学病院	救急科	1				1				1			1	
横浜市立大学附属病院	救急科	1			1				1			1		
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	救急科	1	1					1						1
東邦大学医療センター大森病院	救急科	1		1			1				1			
済生会横浜市南部病院	救急科													
北上済生会病院	救急科													
済生会富山病院	救急科													
福井県済生会病院	救急科													
	救急科合計	14	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R3 (2021) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	麻酔科	0	1		1		1	1	1	1	1	1	1	1
横浜市立大学附属病院	麻酔科			1										
東邦大学医療センター大森病院	麻酔科					1								
	麻酔科合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会横浜市東部病院	小児科	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1
慶應大学病院	小児科										1			
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	小児科						1							
東邦大学医療センター大森病院	小児科				1		1		1				1	1
川崎幸病院	小児科			1										
汐田総合病院	小児科					1					1			
	小児科合計	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R3 (2021) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	産婦人科	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	1	0	1
慶應大学病院	産婦人科				1									
横浜市立大学附属病院	産婦人科									1				
東邦大学医療センター大森病院	産婦人科												1	
汐田総合病院	産婦人科				1		1							
	産婦人科合計	0	0	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1
済生会横浜市東部病院	精神科	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	精神科合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4 (2022) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	内科	5	5	5	4	6	5	5	6	5	6	5	3	5
慶應大学病院	内科			1	1			1		1		1	1	
横浜市立大学附属病院	内科		1		1		1			1		1	1	
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	内科		1			1			1		1		1	1
東邦大学医療センター大森病院	内科			1	1		1	1					1	1
	内科合計	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
済生会横浜市東部病院	外科		2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	2	2
慶應大学病院	外科										1			
横浜市立大学附属病院	外科					1								
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	外科											1		
合計	外科合計	0	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別業で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4 (2022) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	救急科	10	3	3	3	3	3	2	1	2	2	2	3	3
慶應大学病院	救急科	1	1						1					1
横浜市立大学附属病院	救急科	1		1				1			1			
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	救急科	1			1		1			1				
東邦大学医療センター大森病院	救急科	1				1			1			1		
済生会富山病院	救急科				1	1								
済生会今治病院	救急科						1							
伊勢原協同病院	救急科							1	1					
	救急科合計	14	4	4	5	5	5	4	4	3	3	3	3	4

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4 (2022) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	麻酔科	0	1	0	1	1	1	0	1	2	1	1	1	0
慶應大学病院	麻酔科													
横浜市立大学附属病院	麻酔科							1						
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	麻酔科													
東邦大学医療センター大森病院	麻酔科								1					
	麻酔科合計	0	1	0	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4 (2022) 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	小児科	0	1	1	1	1		1	1	2	0	2	0	1
慶應大学病院	小児科													
横浜市立大学附属病院	小児科													
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	小児科													
東邦大学医療センター大森病院	小児科				1	1	1	1	1		1			1
川崎幸病院	小児科			1			1						1	
汐田総合病院	小児科										1		1	
	小児科合計	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4 (2022 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	産婦人科	0	1	1	0	1	1	0	2	1	1	2	1	0
慶應大学病院	産婦人科					1								
横浜市立大学附属病院	産婦人科													
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	産婦人科													
東邦大学医療センター大森病院	産婦人科		1					1						
汐田総合病院	産婦人科						1			1				
	産婦人科合計	0	2	1	0	2	2	1	2	2	1	2	1	0
済生会横浜市東部病院	精神科	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
慶應大学病院	精神科													
横浜市立大学附属病院	精神科						1							
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	精神科							1						
汐田総合病院	精神科													
	精神科合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5 (2023 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	内科	5	5	5	6	4	5	5	6	5	5	5	4	5
慶應大学病院	内科			1		1		1		1		1	1	
横浜市立大学附属病院	内科		1		1		1			1		1	1	
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	内科		1			1			1		1		1	1
東邦大学医療センター大森病院	内科			1		1	1	1			1			1
	内科合計	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
済生会横浜市東部病院	外科	0	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
慶應大学病院	外科				1	1								
横浜市立大学附属病院	外科							1						
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	外科						1							
合計	外科合計	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別業で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5 (2023 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	救急科	10	3	3	2	3	2	3	2	2	3	2	2	3
慶應大学病院	救急科	1			1		1			1				
横浜市立大学附属病院	救急科	1		1						1				1
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	救急科	1			1				1				1	
東邦大学医療センター大森病院	救急科	1	1			1						1		
済生会横浜市南部病院	救急科						1							
北上済生会病院	救急科							1						
済生会富山病院	救急科								1	1				
福井県済生会病院	救急科				1									
	救急科合計	14	4	4	4	4	4	4	4	5	3	3	3	4

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5 (2023 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	麻酔科	0			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
慶應大学病院	麻酔科		1											
横浜市立大学附属病院	麻酔科			1										
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	麻酔科					1								
東邦大学医療センター大森病院	麻酔科								1					
	麻酔科合計	0	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5 (2023 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	小児科	0	1	1	1	1			2	1	1		1	1
慶應大学病院	小児科			1										
横浜市立大学附属病院	小児科											1		
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	小児科							1						
東邦大学医療センター大森病院	小児科						1				1	1	1	1
川崎幸病院	小児科						1	1						
汐田総合病院	小児科				1					1				
	小児科合計	0	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5 (2023 年度分)								臨床研修病院の名称：済生会横浜市東部病院						
								病院施設番号：060004						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
済生会横浜市東部病院	産婦人科		1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1
慶應大学病院	産婦人科											1		
横浜市立大学附属病院	産婦人科			1										
横浜市立大附属市民総合医療センター病院	産婦人科										1			
東邦大学医療センター大森病院	産婦人科				1									
汐田総合病院	産婦人科						1				1			
	産婦人科合計	0	1	2	2	1	2	1	1	1	2	2	1	1
済生会横浜市東部病院	精神科		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
慶應大学病院	精神科			1										
汐田総合病院	精神科													
	精神科合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

研修医名簿

様式3
(No. 1)

病院施設番号： 060004

臨床研修病院の名称： 済生会横浜市東部病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 1 日

番号	氏名	生年月日	医籍番号	医籍登録年月日	研修開始年月日	研修プログラム番号	備考
1	河野 俊裕	平成7年4月24日	583450	令和3年4月5日	令和3年4月1日	060004304	
2	酒井 元輝	平成8年7月14日	579641	令和3年3月29日	令和3年4月1日	060004304	
3	長岡 慈明	平成7年11月4日	580686	令和3年3月29日	令和3年4月1日	060004304	
4	藤井 陽太郎	平成8年10月6日	580178	令和3年3月29日	令和3年4月1日	060004304	
5	村上 恭亮	平成7年6月27日	577353	令和3年3月25日	令和3年4月1日	060004304	
6	三浦 あかり	平成8年7月18日	582054	令和3年3月30日	令和3年4月1日	060004304	
7	眞戸原 尚輝	平成8年8月21日	576635	令和3年3月25日	令和3年4月1日	060004304	
8	井上 拓海	平成8年10月22日	576810	令和3年3月25日	令和3年4月1日	060004304	
9	晝間 仁貴	平成8年5月8日	583004	令和3年3月31日	令和3年4月1日	060004304	
10	杉山 大輝	平成7年1月29日	583255	令和3年4月2日	令和3年4月1日	060004304	
11	二瓶 叶大	平成9年1月23日	585644	令和4年3月23日	令和4年4月1日	060004304	
12	藤川 晴基	平成9年9月21日	585472	令和4年3月23日	令和4年4月1日	060004304	
13	中嶋 彩和子	平成1年11月29日	590255	令和4年3月29日	令和4年4月1日	060004304	
14	久保 将貴	平成8年12月14日	590751	令和4年3月29日	令和4年4月1日	060004304	
15	鈴木 結海人	平成9年5月27日	589798	令和4年3月29日	令和4年4月1日	060004304	
16	勝又 佳織	平成8年5月26日	592238	令和4年4月1日	令和4年4月1日	060004304	
17	近藤 航太	平成9年9月3日	587233	令和4年3月24日	令和4年4月1日	060004304	
18	平田 薫	平成9年2月2日	590253	令和4年3月29日	令和4年4月1日	060004304	
19	山下 愛矢	平成9年7月26日	591075	令和4年3月30日	令和4年4月1日	060004304	
20	前田 夏奈子	平成8年7月19日	592230	令和4年4月1日	令和4年4月1日	060004304	

※ 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医(採用予定を含む。)について研修開始年月日順に記入すること(歯科医師は記入しない)。「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に(中断がある場合は中断前に)研修を開始した年月日を記入すること。「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

臨床研修病院群を構成する関係施設相互間の連携体制

基幹型臨床研修病院の病院施設番号： 060004

臨床研修病院群名： 済生会横浜市東部病院臨床研修病院群 臨床研修病院群番号： 0600043

既に番号を取得している基幹型臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

既に臨床研修病院群番号を取得されている臨床研修病院群については、番号も記入してください。

医師の往来の有無	<p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)</p> <p>協力型施設から当院の非常勤医師として外来診療のため、来訪。(膠原病内科)</p>
医療機器の共同利用	<p>1. <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)</p>
合同臨床病理検討会の開催	<p>1. <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)</p>
その他の診療及び臨床研修についての連携	<p>1. <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)</p> <p>合同カンファレンス、症例検討会</p>

※記入しないこと